

科目名称：	乳児保育Ⅱ	
担当者名：	山本 真里子	
区分	授業形態	単位数
専門教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
1. 乳児保育Ⅰを踏まえ、乳児保育に必要な知識や技術をさらに習得し保育士となる自覚をもつ。 2. 乳児の生活と保育について講義と演習により具体的に学ぶ。 3. 事例検討やグループ討議により学びを深める。 4. プレゼンテーションなどを行い能動的に学ぶ。 5. 乳児保育をするために必要な教材研究を行い、実際にそれを活用した保育実践力をつける。		
授業の達成目標・到達目標		
1. 乳児保育Ⅰでの学習を基礎に、0・1・2歳児の保育を担当する保育者として求められる知識や技術の理解を深める。 2. 専門家としての資質をより高めることを目標とする。 3. 乳児保育を担当する保育士として必要な理論や知識・技術の基本を具体的な事例を通して理解する。 4. 広く乳児期（3歳未満児）の発達と保育について学びながら保育士の役割について事例をもとに具体的に理解する。 5. 乳児を集団で保育することについて、保育現場での具体的な課題を、討議しながら考え問題解決の方法を理解する。		

幼児教育学科	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	建学の精神と設立の理念を基に、基礎知識を修め、子ども・保護者・地域住民に信頼され、多様な文化に対応できる幅広い教養が身についている。	
DP(2)	優れた専門知識や技能を修得し、他者と協調・協働し、社会の一員として、保育・幼児教育の分野において貢献できる使命感、倫理観、責任感、実践力を身につけている。	○
DP(3)	幼児教育の学びを通して多様な社会に対応できるような豊かな人間性を養い、人との関わりの中で自己の考えを的確に表現するとともに、他者の意見を尊重し良好な信頼関係を築いていくことができる。	
DP(4)	学生一人ひとりが、演習、実習などを通して様々な課題に取り組み解決する学修経験を重ねることで、その場に応じた活用力が身についている。	

評価方法／ディプロマポリシー	定期試験	小テスト	提出課題 (プリント・遊具)	その他	合計
幼児教育DP(1)					0
幼児教育DP(2)		50	30	20	100
幼児教育DP(3)					0
幼児教育DP(4)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の実務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
あり	《内容1》 保育士	《経験年数1》 41年
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

評価ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間(分)
第1回 オリエンテーション(授業内容説明) 自己表現・ワーク	0・1・2歳児の育ちを確認しておく	30分
第2回 0歳児:ビデオ・エピソードから育ちや保育者の関りについて学ぶ (ワーク・自主学習)	育ちや保育者の関りについての講義をノートにまとめておく	30分
第3回 0歳児:食事の場面で大切なこと(講義・ビデオの読み取り)	食事の場面で大切なことについての講義をノートにまとめておく	30分
第4回 0歳児:排泄の場面で大切なこと(講義・ビデオの読み取り)	排泄の場面で大切なことについての講義をノートにまとめておく	30分
第5回 0歳児:遊びの場面で大切なこと(講義・ビデオの読み取り)	遊びの場面で大切なことについての講義をノートにまとめておく	30分
第6回 1歳児:ビデオ・エピソードから育ちや保育者の関りについて学ぶ (ワーク・自主学習)	育ちや保育者の関りについての講義をノートにまとめておく	30分
第7回 1歳児:育児の場面で大切なこと(講義・ビデオの読み取り)	育児の場面で大切なことについての講義をノートにまとめておく	30分
第8回 1歳児:遊びの場面で大切なこと(講義・ビデオの読み取り)	遊びの場面で大切なことについての講義をノートにまとめておく	30分
第9回 遊具づくり	遊具づくりの材料を集め、計画をたてておく	30分
第10回 遊具発表	遊具仕上げ・用紙記入 どんな発達がみられる遊具か調べておく	30分
第11回 2歳児:ビデオ・エピソードから育ちや保育者の関りについて学ぶ (ワーク・自主学習)	育ちや保育者の関りについての講義をノートにまとめておく	30分
第12回 2歳児:育児の場面で大切なこと(講義・ビデオの読み取り)	育児の場面で大切なことについての講義をノートにまとめておく	30分
第13回 2歳児:遊びの場面で大切なこと(講義・ビデオの読み取り)	遊びの場面で大切なことについての講義をノートにまとめておく	30分
第14回 まとめ プレゼンテーション	0・1・2歳児の育ちの確認とまとめ作業をしておく	30分
第15回 まとめ・プレゼンテーション・ワーク	0・1・2歳児の育ちの確認とまとめ作業をしておく	30分

事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め短期大学設置基準で規定された学修時間が必要である。

成績評価の方法・基準

定期試験は、実施しない。 その他の評価配分は、以下のとおりである。
 小テスト 50% 手作り遊具・プリントの記入の提出30%
 演習授業・グループワークの積極的関与 20%

課題に対するフィードバック

授業内プリント・まとめに関して評価し返却する。

教科書・参考書

プリント配布
 その他、必要時視聴覚教材・最新情報や参考文献等のコピーを使用